





# 長岡技術科学大学（地域防災実践研究センター）

本社所在地	新潟県長岡市上富岡町1603-1	 <p>国立大学法人 <b>長岡技術科学大学</b> Nagaoka University of Technology</p>  <p><b>独創を、発展へ。</b></p> <p>本学は2026年10月1日に開学50周年を迎えます。</p>
従業員数	(教職員数) 361人 (学生数) 2158人	
国内・国外の事業所	—	
主な事業内容	実践的な技術の開発を主眼とした教育研究を行う、大学院に重点を置いた大学です。産学連携による教育研究、社会貢献活動を展開し、イノベーション創出を担う指導的技術者を養成しています。	
		 <p>大学HP</p>  <p>地域防災実践研究センターHP</p>

## エレクトロニカ新潟2024 出展内容・アピール など

長岡技術科学大学「**地域防災実践研究センター**」は、本学でこれまで培われてきた種々の研究・技術のシーズを「防災」をキーワードとして結集し、自治体や企業、研究機関と協力して社会に実装することを目標に2021年9月に設立されました。

地域の課題に過去の災害経験や各種データをもとに本学の専門的知見を活かし、新潟県や長岡市をはじめとする自治体、そして防災・減災に関する研究機関、電力・通信関連企業など多種多様な機関と連携し取り組んできました。

今回はその取り組みの中から2つをご紹介します。

### <雪と倒木のデータプラットフォーム>

2022年度の冬、新潟県では大雪による倒木が同時多発的に発生しました。

これまでは自治体、電力会社、通信会社など各機関がそれぞれ現場に赴いて倒木の情報を電話で共有していたために時間を要していました。

そこで現場の写真や位置などの情報をネットの地図上で共有することによって、復旧までの時間短縮をするデータプラットフォームをNTT東日本と本学が開発・体制構築をしました。現在7機関が参画しています。

今後は雪や暴風による倒木だけでなく様々な災害からの復旧に役立てたいと考えています。



### <通電火災を防ぐ非接触給電コンセント>

地震・台風等の自然災害の影響により、停電から電気が復旧することによって発生する通電火災が大きな問題となっています。

本学では電気を一旦高周波（400 kHz）に変換し電界を介して送ることで電力を送ることができる非接触給電コンセントを研究開発しています。

これまでのコンセントと違い、金属の露出部がないため、より安全に電気を送ることができます。

